

令和7年度 岩瀬中学校 学校経営運営ビジョン

県中教育事務所指導の重点

- 「学びの変革」によって資質・能力を確実に育成する。
- 「学校の在り方の変革」によって学校の力を最大化する。
- 学びのセーフティネットによって多様性を力に変える。
- 「福島を生きる」教育を推進する。
- 人生100年時代を見通した多様な学びの場をつくる。
- 安心して学べる環境を整備する。

生徒の実態

- 学習の意欲があるが、主体的に学習に取り組む、課題に対して深く考え、最後まで粘り強く取り組む力が必要である。
- まじめに落ち着いた学校生活を送っている生徒が多いが、表現力を身に付けるとともにコミュニケーション能力を高め、積極的によりよい人間関係を築く必要がある。

保護者の願い

- 学力の向上
- 思いやりの心の育成
- 心身の健康とたくましさの育成

須賀川市教育委員会の目標・重点

- 目標：ともに学び ともに育ち ともに生きる 未来へつなぐ人づくり
- I 安心して子どもを産み育てられる環境をつくる
- ・幼児教育、保育の充実
 - ・子育て支援の充実
- II 変化の大きい社会に的確に対応できる「生きぬく力」を育む
- ・確かな学力の育成
 - ・豊かな心と体の育成
 - ・新たな学びの環境整備
 - ・特別支援教育の充実

教育目標

知性	敬愛	健康
目標の実現に向け、 主体的に学習する生徒	互いに思いやり、 自他を尊重する生徒	健康で明るく、 最後までやり抜く生徒

目指す生徒像

- 将来の夢や目標に向かって、生き生きと学び合う生徒
- 思いやりがあり、自他の違いを認め合える生徒
- 自ら心と体を鍛え、お互いに切磋琢磨する生徒

目指す学校像

- 確かな学力を身に付け、学ぶ楽しさが実感できる学校
- 生徒たちがお互いのよさや成長を実感できる学校
- 自主的、自立的な活動が盛んな活力ある学校

重点目標

- 知性：お互いに学び合う授業を通して、主体的に学ぶ態度と思考力・判断力・表現力を育成します。
- 敬愛：お互いにかかわり合う実践的・体験的活動を通して、思いやりや感謝の心を育てるとともに、自己肯定感を高めます。
- 健康：体力向上や健康教育の充実を通して、自己管理能力を身に付け、自ら進んで行動し、最後までやり抜く態度を培います。

		確かな学力の向上	豊かな心の育成	気力・体力の向上
実 践 事 業 項	重点	(1)「主体的・対話的で深い学び」による授業の実践 (2)学習環境と言語活動の充実	(1)「考え、議論する道徳」の授業の実施 (2)キャリア教育と生徒指導の充実	(1)基本的な生活習慣の確立とセルフマネジメントの育成 (2)体力向上・健康教育・安全教育の充実
	具体的な方策	(1)「主体的・対話的で深い学び」による授業の実践 ①4人一班やペア等の学習形態を積極的に活用した一斉授業からの脱却 ②教師が「みる」「きく」「つなぐ」授業についての授業研究の実施 ③市教育研修センター等との連携と「授業スタンダード2」「授業改善グランドデザイン」の活用 ④全国学力・学習状況調査やふくしま学力調査による実態把握と対策 (2)学習環境と言語活動の充実 ①小学校の学習からの系統性を生かした「岩瀬の学び」による学習態度の育成 ②「家庭学習スタンダード」を活用した効果的な学習方法の指導 ③ICT機器の活用 ④朝の読書活動と学校図書館の充実 ⑤漢検・数検・英検の奨励	(1)「考え、議論する道徳」の授業の実施 ①実態に合わせた道徳教材の選択、活用 ②須賀川モデルをもとにした評価方法の研究推進 (2)キャリア教育と生徒指導の充実 ①外部講師によるふるさと総合学習 ②職場体験、校内高校説明会の実施 ③「専門教育魅力発信応援事業」(高校での体験学習)への参加(2学年) ④いじめに関するアンケートの毎月実施と迅速な対応 ⑤Q・Uを活用した学級づくり ⑥スクールカウンセラーや心の教室相談員、スクールソーシャルワーカーとの連携を図った教育相談の充実 (3)岩瀬コミュニティセンターとの連携 ①田植え体験(1学年) ②ジュニアボランティア活動	(1)基本的な生活習慣の確立とセルフマネジメントの育成 ①教科等での食生活や睡眠時間と健康についての指導の充実 ②各種メディアとの関わり方についての小中一貫した指導の充実 (2)体力向上・健康教育の充実 ①新体力テストの分析と体力増進 ②講話、朝食調べ等による生活習慣や食生活の振り返りと改善 ③小中一貫した保健安全指導及び保健教育の充実 ④「自分手帳」の活用 (3)安全教育の充実 ①交通教室、避難訓練、AED講習会、防犯教室等の危機回避能力の育成 ②感染症対策の徹底と防災教育の充実 (4)次年度からの部活動加入自由化と部活動数削減へ向けた取組
	達成目標	■2学期末の実力テストにおいて県平均または前年度を上回る。 ◆授業改善 3.5以上 ◆家庭学習の習慣 3.5以上	■いじめの見逃し0 ■不登校増加0 ◆道徳の時間の充実 3.5以上 ◆悩み・相談等の充実 3.5以上	■新体力テスト A+B=55%以上 D+E=15%以下 ■学校事故 0 ◆基本的な生活習慣 3.5以上 ◆メディアへの指導 3.5以上
【信頼される学校をめざして】 ①学校だよりや学年だより等の発行とホームページの積極的な更新 ②学校評価アンケートと学校評議員会の充実 ③生徒の安全を考えた緊急メールの効果的な活用 ④定期的な服務倫理委員会の実施 ⑤PTA・歴代会長会との連携 ⑥校則見直しの継続 ※ 達成目標の◆は学校評価における目標ポイント				

